

上サロベツ自然再生普及行動計画 「自然再生普及活動の進め方」(案)

目 次

1. はじめに	1
2. 経緯	2
3. 行動計画の目的と基本的構成	3
(1) 目的	
(2) 上サロベツ自然再生普及行動計画の役割	
(3) 行動計画の構成	
4. 自然再生普及活動の基本的考え方	4
(1) 自然再生普及活動の進め方	
(2) 普及活動の実施のポイント	
5. サロベツ文化づくりのための7つの行動	6
(1) サロベツを見つけよう	
(2) サロベツの話をしよう	
(3) サロベツを楽しもう	
(4) サロベツのことをまとめよう	
(5) サロベツを発信しよう	
(6) サロベツの利用ルールを作ろう	
(7) サロベツでつなげよう	

上サロベツ自然再生普及行動計画 「自然再生普及活動の進め方」(案)

1. はじめに

利尻礼文サロベツ国立公園指定の前後から、サロベツ湿原の環境保全に対する意識が地域においても徐々に高まり、昭和 58 年に、豊富町に自然環境教育の萌芽が見られました。この年、豊富町に住む高校教員など有志により「豊富自然学校」が立ち上がり、以降 20 年以上にわたり、山菜採りやキャンプ活動といった自然体験活動とともに、サロベツ湿原での湿原観察がプログラムとして行われ、豊富の子ども達に向け、湿原のすばらしさ、大切さを伝え続けてきました。

昭和 59 年には、豊富高校に郷土研究部が結成され、郷土である豊富町の自然と歴史、そして人々の生活などについて調べ、民話を収集するなどの活動が続けられてきました。そして、平成 15 年には豊富町にサロベツお宝鑑定団が発足し、大人も巻き込みながら、農業と自然が共生するサロベツ・豊富町の農業と開拓の歴史を語り継ぐ活動が行われてきています。

平成 17 年 1 月、「上サロベツ自然再生協議会」が立ち上がり、農業と湿原の共生について地域の多様な主体の参加による活動の場が開かれ、そして平成 18 年 2 月に策定された「上サロベツ自然再生全体構想」では、「湿原の保全」、「農業の振興」、「地域づくり」の 3 点が目標として掲げられ、自然再生を推進するため、地域住民等の参加、環境教育の視点、持続的な活動にする工夫などが必要な項目として示されました。

自然再生の目標達成に向け、地域の特性を生かした酪農を振興し、地域固有の生態系である湿原を保全し、地域の人々が中心になって賢く利用することで育まれるサロベツらしさ、いわば「サロベツ文化」を醸成しながら、地域を活性化していきたいと考えています。

ついては、これまでに行われてきた自然や文化に関する地域の活動を強化し、より多くの人に関心を持ってもらい、多様な主体の参加により活動を広げていくための一つの手引きとして行動計画を定めます。

2. 経緯

平成 15 年 1 月 1 日	自然再生推進法施行
平成 17 年 1 月 19 日	上サロベツ自然再生協議会の設立、自然再生普及部会の設置
平成 18 年 2 月 2 日	第 1 回自然再生普及部会の開催 ・ 座長・座長代理の選出
平成 18 年 5 月 22 日	第 2 回自然再生普及部会の開催 ・ 再生普及部会の進め方 ・ 上サロベツ及び周辺の普及活動の発表
平成 18 年 11 月 27 日	第 3 回自然再生普及部会の開催 ・ 「行動計画策定ワーキンググループ」の設置 ・ 上サロベツにおける普及活動について討議
平成 19 年 1 月 18 日	第 1 回行動計画策定ワーキンググループ ・ 活動づくり、情報発信について意見交換
平成 19 年 1 月 25 日	第 2 回行動計画策定ワーキンググループ ・ 人材育成、ルールづくりについて意見交換
平成 19 年 2 月 9 日	第 3 回行動計画策定ワーキンググループ ・ 行動計画骨子の検討
平成 19 年 2 月 20 日	第 4 回自然再生普及部会の開催
平成 19 年 × 月 × 日	...

3. 行動計画の目的と基本的構成

(1) 目的

協議会における「湿原の保全」、「農業の振興」、「地域づくり」の目標を達成するために必要な環境教育と住民参加を促進させることを目的に作成するものです。

(2) 上サロベツ自然再生普及行動計画の役割

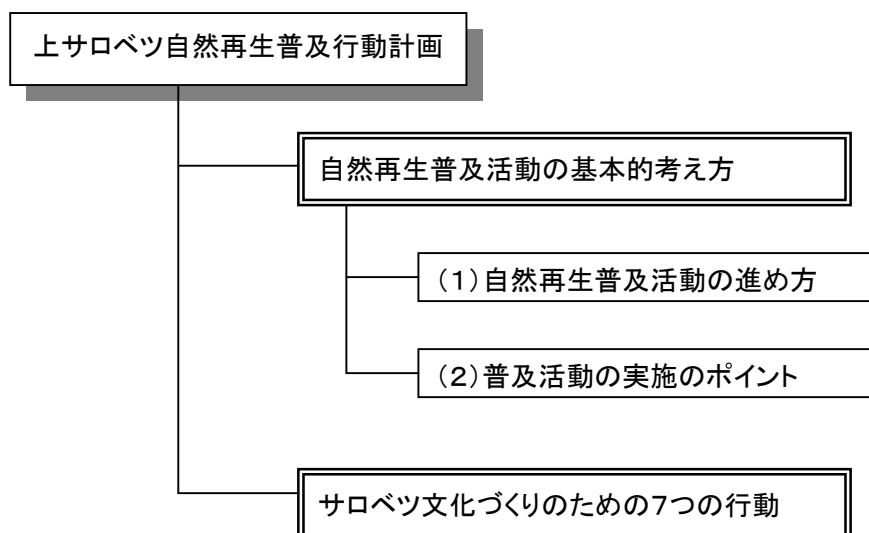
上サロベツ自然再生は、地域住民及び関係者の地道な活動によって支えられ具体化していきます。自然再生普及行動計画は、関係者に過度の負担とならないよう、それぞれの活動に対し地域全体が協力して支え合うための仕組みづくりを進めるための手引きの役割を持っています。

自然再生協議会は環境教育と住民参加を促進するため、次の3点の支援を通じて、自然再生普及活動の基盤強化を図っていきます。

- ・ 地域主体の既存活動の強化を支援します。【地域活動支援】
- ・ 活動の継続を支援します。【継続支援】
- ・ 活動する人・団体をつなげることを支援します。【連携支援】

(3) 行動計画の構成

上サロベツ自然再生普及行動計画は、「自然再生普及活動推進の基本的考え方」と、「サロベツ文化づくりのための7つの行動」から構成されます。

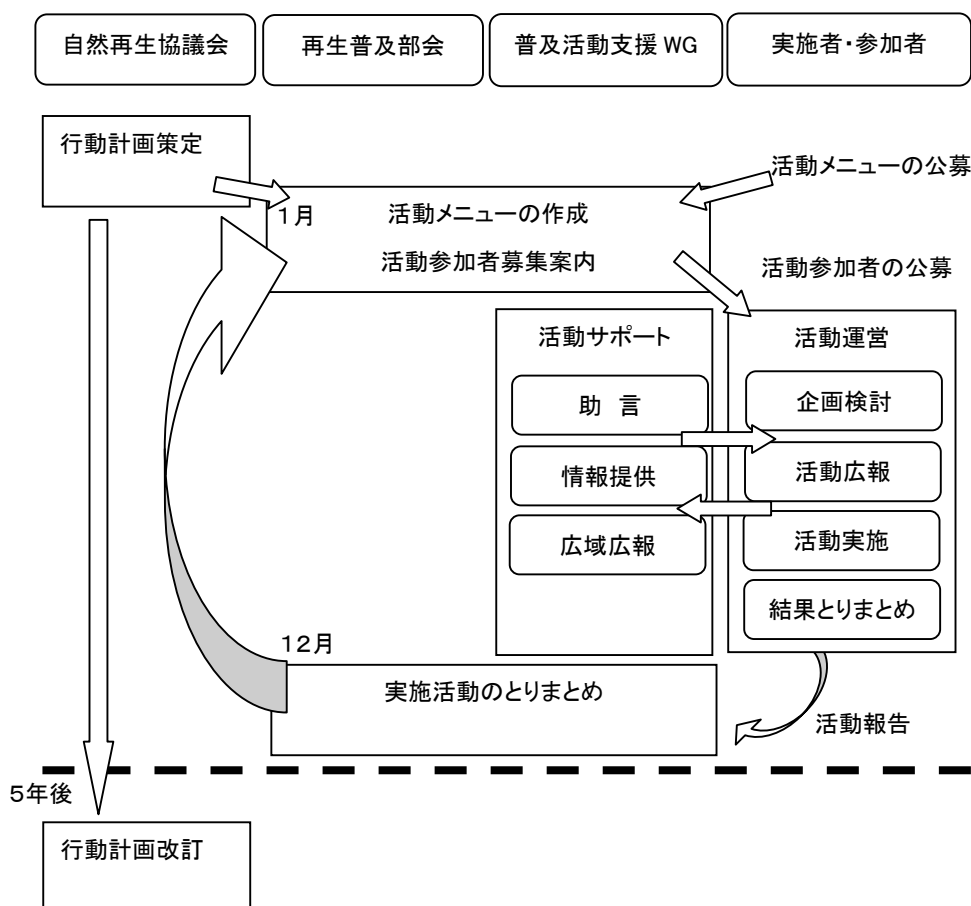


4. 自然再生普及活動の基本的考え方

(1) 自然再生普及活動の進め方

- ①「湿原の保全」と「農業の振興」から「地域づくり」を行うための活動案として、「普及活動の実施のポイント」をもとに、「サロベツ文化づくりのための7つの行動」を定めます。
- ②自然再生協議会の再生普及部に「普及活動支援ワーキンググループ」を設置し、活動案の具体化について検討し、行動メニューを作成し、併せてメニューを公募します。(この際に協議会に参加していない個人・団体の活動についても、自然再生普及活動に則した活動については、再生普及部会から協力要請・勧誘を行います。)
- ③行動メニュー毎に参加者・協力者を募り、自ら各メニューについてグループワークにより企画の検討や活動・運営を行います。
- ④実施された活動については、活動実施者から再生普及部会に活動報告を行います。
- ⑤活動の実施状況、活動報告のまとめを再生普及部会で行い、その結果をもとに次期の活動案具体化検討作業を行います。
- ⑥「自然再生普及活動の進め方」、「サロベツ文化づくりのための7つの行動」については、5カ年毎に評価し、見直しを行います。

<毎年及び5ヶ年の評価・見直しの仕組み>



（２）普及活動の実施のポイント

サロベツやその周辺では、自然や農業・地域文化を対象とした活動が既に始められているものもあります。また、まだ実施したことのない楽しいアイデアが活動になるきっかけを待っているものもあります。

普及活動支援ワーキンググループでの行動メニューづくりや、活動を自ら企画・実行していく上で、自然再生普及活動が活性化するための重要なポイントをまとめました。

1. まずは始めてみよう【企画検討に際して】

＜自然再生普及活動を始める４つのポイント＞

POINT1:「知ること」から始めよう

サロベツ原野にはどんな花が咲くのだろう？豊富な牛乳はどうしておいしいんだろう？地元の自然や文化を知ること、地域の魅力の発見につなげましょう。素朴な疑問を大切に、また地域を知ることにより課題を明確にしましょう。

POINT2:「地元」から始めよう

地域づくりは、そこに住む人、その土地を愛する人により行われます。まずは地元から始めてみましょう。

POINT3:「楽しいこと」から始めよう

楽しくなければ始まらない、楽しくなければ続かない。楽しい企画、楽しめる企画をサロベツから発信しましょう。

POINT4:「つなげること」から始めよう

３人寄れば文珠の知恵。「楽しい」を共感し、一緒に語れるグループを作りましょう。人と人、団体と団体をつなげることから始めましょう。

2. 高め合いながら続けよう【活動実施に際して】

＜自然再生普及活動を成長させる４つのポイント＞

POINT1:企画アイデアを練ろう

グループワークでこれまで行われてきた活動を発展させるアイデアを持ち寄り企画しましょう。「広報・情報の視点」、「利用ルールの視点」にも気を配りましょう。

POINT2:積極的に実行しよう

自ら実行すること、体験することは、活動の理解を深めることにつながります。小さな活動からでもまず実行してみましょう。

POINT3:活動結果をまとめよう

どんな結果が得られたか、活動したことを改めて振り返ってみましょう。どんな課題が得られたかまとめましょう。

POINT4:活動を発展させながら継続しよう

課題は前向きに検討しつつ、また新たなアイデアを持ち寄りつつ地道に続けていきましょう。

5. サロベツ文化づくりのための7つの行動

前述の普及活動実施のポイントと、再生普及部会及び行動計画策定ワーキンググループでの議論をもとに、これから自然再生普及活動を進めていくにあたっての具体的な取り組みの手がかりとなるものを「サロベツ文化づくりのための7つの行動」として整理しています。

(1) サロベツを見つけよう

(1)-1 地域の自然について調べよう・見つけよう

※サロベツ湿原の仕組みを調べよう

※サロベツに流れる川を調べよう

※サロベツに息づく生き物を調べよう

※サロベツの景色を調べる（自然風景、農業風景、陸から、川から、空から）

(1)-2 地域の文化・歴史について調べよう

※地元の人視点でサロベツを見つけよう

※サロベツの美味しいものを見つけよう

※サロベツの健康を見つけよう

※開拓の歴史を調べよう

※古い写真を集めよう

(2) サロベツの話をしよう

※町の古老と話そう

※町の子ども達と話そう

※サロベツを訪れる旅人と話そう

(3) サロベツを楽しもう

※自然観察会を開こう

※自転車で楽しもう

※カヌーで楽しもう

※フットパスルートを歩こう

※ホーストレッキングを楽しもう

※湿原植物を育てよう

※湿原植物を食べよう

※サロベツを楽しむルートで遊ぼう

※地場産のソフトクリームを食べよう、牛乳を飲もう

※サロベツの四季を楽しもう

※サロベツの香りを楽しもう

※サロベツをきれいにしよう

(4) サロベツのことをまとめよう

※サロベツ紹介パンフレットを作ろう

※サロベツの教材や副読本をつくろう

※サロベツガイド専用マニュアルを作ろう

※バスガイドさん用サロベツマニュアルを作ろう

※解説板を作ろう

※兜沼公園や豊富温泉など近くの楽しいもの、面白いことをまとめよう

(5) サロベツを発信しよう

※高層湿原をPRしよう

※ホームページを活用しよう

※新聞、ラジオなどメディアを活用しよう

※掲示板で発表しよう

(6) サロベツの利用ルールを作ろう

※利用の条件を考えよう

※活用の際の条件を考えよう

※サロベツカントリーコードを作ろう

※ルールを運用する仕組みを考えよう

(7) サロベツでつなげよう

※親子で参加しよう

※町のおじいちゃん、おばあちゃんと参加しよう

※農業青年と活動しよう

※町民同士で定期的な話し合いの機会を持とう

※サロベツで多くの人と会おう

※サロベツガイド（自然、文化、地域、活動）を育成しよう

※環境教育指導者を育成しよう

※講習会、講演会を開こう

これらをヒントに、多様な主体の参加によって、地元からサロベツらしい様々な活動が生まれ育っていくことを期待しています。